

令和3年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 御井小学校プラン

《学校の教育目標》 豊かな『人間力』を身につけたみいっこの育成

〈本年度学校の重点目標〉 なかまとつながり自分らしくチャレンジし続ける子どもの育成

かしこく

- ・人の話をしっかり聴く子ども
- ・自分の思いや考えを書いたり話したりして伝えることができる子ども

【つくる力】

なかよく

- ・あいさつ、返事、「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子ども
- ・助けを求めたり協力したりできる子ども

【つなぐ力】

たくましく

- ・ルールや約束を守り、がまんができる子ども
- ・目標を立ててねばりよく挑戦できる子ども

【つらぬく力】

学びをつなぐ授業

- ① 1単位時間で習得させる知識・技能の週指導計画への明記
- ② 「ふかめる段階」における根拠を明確にして書く活動と交流活動（毎時間）
- ③ 教材提示や交流場面におけるICT機器（個人持ちPC）の活用
- ④ 読み・書き・計算の基礎学力定着を図る朝スキルタイムの共通実践
- ⑤ 外国語活動における英語の音に慣れ親しむ活動、外国語科における書く活動（毎時間15分以上）

笑顔の先生

- ① 主題研修「子どもの自尊感情を高める授業の創造」における表現活動と評価活動を工夫した授業公開
- ② 同学年・担任外教職員との協働・役割分担による授業改善と働き方改革推進



協働する学校・家庭・地域

- ① 家庭との連携による「生活リズムチャレンジ」の取組の推進（早寝・早起き・朝ごはん、家庭学習・スローメディア）
- ② PTA行事・地域行事への積極的参画による子どものよさを地域の大人が認め、褒める機会づくり
- ③ 学園コミュニティにおける小中合同研修会

楽しい学校

- ① 不登校の未然防止のための「くるめアクションプラン」の徹底（毎日）
「学校生活アンケート」をもとにした「いじめ・不登校対策委員会」での組織的対応（月1回）
児童と担任等との教育相談の実施（年1回以上）
- ② 児童による「学校のきまり」策定、放送やケガの人数調べによる啓発（毎学期）
- ③ 学級活動を中心とした学級への所属意識を高める取組（学期1回）
係・当番活動の充実と、自分や友達の活動のよさを振り返る活動（月1回）



基盤として大切にすること

【体力向上】

- ① 「準備運動ー給水・マスク外しー活動ー給水・マスク着けーふり返り」のルーティン化による感染症対策と運動量確保の両立
- ② スポコンチャレンジ週間の各学級での取組（長なわ）（「1校1取組」運動）
 - ・体力アップシート活用率80%以上
 - ・スポコン広場登録学級数6学級以上

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ① 企画委員会提案子どもたちによる「あいさつ運動」（毎学期）
- ② 教え合い、時間いっぱいがんばるための縦割り掃除（週1回）
- ③ 学年に応じた「家庭学習の仕方」の配付による時間（学年×10+10分）と内容の充実

【人権・同和教育】 学園コミュニティにおける人権カリキュラム作成と共通実践（人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」）

【特別支援教育】 個別の指導計画・支援計画の活用と特支コーディネーターの連絡調整による組織的・協働的支援体制確立

【キャリア教育】 「生活リズムチャレンジ」「キャリアパスポート」活用による自己の伸びを認める活動の充実

教育課題

- ① 基礎基本の定着を基盤として自尊感情を高める学力の育成
- ② 相手を思いやり、互いに支え合う人間関係力の育成
- ③ 目標を立ててやりぬく体力・耐力の育成

経営課題

- ① 主題研修、人権・同和教育研修の日常化による実践的指導力の向上
- ② 保護者・地域・関係機関との連携による教育活動の充実
- ③ 子どもと過ごす時間を生み出す働き方改革の推進

- 日本国憲法、教育基本法、学校教育法その他の諸関係法規、学習指導要領及び県市の教育施策に則った公教育の推進
- 児童・学校・家庭・地域の実態を踏まえ、現代社会の要請に応じた調和と統一のある教育課程の編成
- 全職員協働による久留米市教育振興プランの実現